

## 柱 2-1-(1)-ウ-① 一般廃棄物（収集輸送）

### 元年度目標の達成状況

目標	元年度実績	元年度目標の評価
28年度比で職員定数の約10%（150名）の削減 30年度 93名 元年度 150名（累積） ※なお、元年度目標以上の減員が見込まれる場合は、さらなる民間委託の拡大を図る。	・職員定数の削減 元年度 152名 （29年度からの累積）	達成

### 元年度取組の実施状況

元年度の取組内容	元年度の主な取組実績
<b>①民間委託化の拡大・推進</b> ・「家庭系ごみ収集輸送事業改革プラン（以下「改革プラン」という。）」に掲げる効率化による定数削減と今後の早期退職の動向などを踏まえて、民間委託化の拡大を検討する。	・「改革プラン」に掲げる効率化による定数削減数以上に在籍職員の減員がなかったことから、元年度の民間委託化の拡大は実施していない。
<b>②さらなる改革の推進</b> ・「改革プラン」に基づき、「経費の削減」と「市民サービスの向上」を改革の2つの柱として、徹底した効率化を図る。 ・運行管理システムを活用し、日常的なPDCAサイクルを徹底していくことで、さらなる効率化に繋げていく。 ・環境・廃棄物行政の地域におけるコントロールタワーとして、市民の理解・協力を得ることで、地域から必要とされる「環境事業センター」に向け、地域との連携を強化する。	・PDCAサイクルを徹底した結果、効率化により職員定数を61名（累積152名）削減したほか、公務上交通事故の発生件数が20件と昨年度の30件を下回った。（最終目標：45件以内） ・地域・区役所との連携強化を図るため、合同防災訓練を拡大実施（39回）したほか、古紙・衣類のコミュニティ回収実施団体数の拡大推進（101団体）に取り組んだ。

### 取組期間の成果

・PDCAサイクルを徹底し、進捗管理を厳格に行った結果、効率化による職員定数削減のほか、公務上交通事故件数の削減など、「改革プラン」に掲げた全ての目標について「目標どおり」もしくは「目標を大きく上回る」成果を得た。
---

### 今後の方向性

・2年度からの3か年を対象として新たに策定した「家庭系ごみ収集輸送事業改革プラン2.0」に基づき、「改革プラン」の考え方を踏襲し、更なる「経費の削減」と「市民サービスの質的向上」に向けて、継続的に取り組んでいくとともに、経営形態の検討も進めるなど、引き続き「市政改革プラン3.0」においても改革を推進していく。
---